

1005

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和5年度分）

（宛先）岡崎市長

令和6年4月30日

団体名 せるらんげー

代表者 伊藤 佳子

構成員 13人 （※令和6年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

スリランカの文化、風習、食生活を紹介し、日本との違いなどを知ってもらうことにより、異文化への理解を深めてもらい、お互いの良い部分を見つけ、生活に取り入れることにより岡崎市民が健やかに明るく生きられるようになることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益 ^{※1} を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員 ^{※2}		
4月8日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることのでき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。
6月3日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	4	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることのでき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。
7月8日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	3	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることのでき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。
8月5日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることのでき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。
9月9日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることのでき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。

10月3日	やはぎかん 活動室	市民(参加者)	1	1	母と子のふれあ いの場の提供	日本とスリランカの子 育てに対する考え方の 違いについて知り、岡崎 での生活環境ではどう なのか、日本はどうなの かを考え、子供を育てる 親としてできること、す べきことについて考え ることができた。
10月7日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることででき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。
11月10 日	やはぎかん 活動室	市民(参加者)	7	1	母と子のふれあ いの場の提供	日本とスリランカの子 育てに対する考え方の 違いについて知り、岡崎 での生活環境ではどう なのか、日本はどうなの かを考え、子供を育てる 親としてできること、す べきことについて考え ることができた。
12月10 日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることででき ないスリランカの料理 を作って食べながらス リランカの文化を知る ことができた。
12月13 日	やはぎかん 活動室	市民(参加者)	2	1	母と子のふれあ いの場の提供	日本とスリランカの子 育てに対する考え方の 違いについて知り、岡崎 での生活環境ではどう なのか、日本はどうなの かを考え、子供を育てる 親としてできること、す べきことについて考え ることができた。
1月13日	やはぎかん 調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理 紹介	あまり知ることででき ないスリランカの料理 を作って食べながらス

						リランカの文化を知ることができた。
3月9日	やはぎかん調理室	市民(参加者)	2	2	スリランカ料理紹介	あまり知ることのできないスリランカの料理を作って食べながらスリランカの文化を知ることができた。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、**活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。**

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 4 ③ 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

母と子のふれあいの場を提供する企画はコロナ禍の約2年の間に参加していた子供たちも大きくなってしまったことから、企画を知っている人が少なくなり開催が難しくなりました。料理紹介についてはほぼ毎月開催することができたためなんとか続けることができた。いずれの企画も参加者からは喜ぶ声を聞くことができてよかった。

裏面の自己診断チェックリストをご確認ください。